

## 平成 28 年度第 3 回 沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

日時：平成 28 年 9 月 14 日（水）19：23～21：10

場所：琉大病院がんセンター

参加者 10 名：笹良剛史、新屋洋平、足立源樹、栗山登至、島袋恭子、垣花真紀子（Skype）、  
友利健彦、尾崎信弘、多和田慎子、増田昌人

欠席者 10 名：喜納美津男、伊藤昌徳、野里栄治、川田聡、笠原大吾、親泊美香、大湾勤子、崎枝久美、  
福地泉、中村清哉

陪席者 2 名：高橋秀徳、山口元子

### < 報告事項 >

#### 1. 平成 28 年度第 2 回緩和ケア部会議事要旨について

資料 1 に基づき、増田委員より平成 28 年度第 2 回緩和ケア部会議事要旨の報告があった。

#### 2. 緩和ケア研修会修了報告について

資料 2 に基づき、友利委員より沖縄赤十字病院主催緩和ケア研修会修了報告があった。修了者は 24 人とのことである。ハートライフ病院主催緩和ケア研修会修了報告は次回行う事になった。

#### 3. 平成 28 年度沖縄県緩和ケア研修会の日程について

資料 3 に基づき、増田委員より周知があった。今年度はあと 5 回開催予定である。

#### 4. 「緩和ケア及び精神腫瘍学の指導者研修会修了者対象 現況調査」について

資料 4 に基づき、増田委員より周知があった。

#### 5. 緩和ケアチーム登録の報告について

資料 5 に基づき、多和田委員より報告があった。増田委員より、拠点病院はなるべく緩和ケアチーム登録を行っていただきたいとの発言があった。

### < 協議事項 >

#### 1. 痛みのスクリーニングと結果のフィードバック及び主治医（チーム）の行動変容について

資料 6 に基づき、多和田委員より琉大病院の状況について報告があった。除痛率はまだ院内で認知度が低く、リンクナースへ教育を行ってリンクナースから各スタッフへ広めるという体制。痛みの強い患者は緩和ケアセンター看護師が評価を行っているが不定期である。各病棟の緩和ケアカンファレンスについて、がん患者が多い病棟は緩和ケアセンター看護師が参加しており、痛みがある患者のリストを持参して対応を検討している。痛み以外の症状を持つ患者については緩和ケアリンクナースが中心となって対応しており、昨年度のデータでは介入数が上がった。取り組みとして、痛みのある患者への対応のアルゴリズムを作成し院内のマニュアルにアップした。緩和ケアセンター連絡会議や診療科への周知も行っている。青森県立中央病院での取り組みを琉大病院へどう取り入れるかは検討中である。また、25 年度 4 月からの琉大病院全体の除痛率の推移と病棟ごとの除痛率の推移を示しているが、赤線は除痛率が上がっている病棟で青線は下降又は横ばいを意味する。一番改善率の良かった D 病棟では、痛みの特

化したカンファレンスを行っており病棟薬剤師にも参加してもらっている。その他の除痛率が上がっている病棟は緩和ケアカンファレンスが定着している病棟で、少しずつ成果が上がっているようである。疼痛以外の身体症状や精神面の症状がある患者は今年度も引き続き緩和ケアリンクナースと取組みを進めているとのことだった。

当日資料に基づき、笹良部会長より南部病院及び豊見城中央病院の状況について報告があった。スクリーニングは入院患者に対しては行っているが外来患者に対しては行えていない。豊見城中央病院は外来に看護師が少なく、問診を取っているのは MA であるため外来スタッフ向けの研修を行った。スクリーニングは化学療法認定看護師を中心とした体制の構築を検討している。フィードバックは病棟薬剤師から医師に行う事を検討している。全体の流れとしては、看護師がスクリーニングし、認定看護師が結果をチェックし、病棟薬剤師が医師にフィードバックという事になる。南部病院と在宅については、一度に導入するのが難しいので据え置きとのことだった。また、来月青森県立中央病院から山下看護師を招聘し、勉強会を開催する旨周知があった。

資料 7 に基づき、足立委員より那覇市立病院の状況について説明があった。外来ではスクリーニングを行っているが、入院は身体の痛みについてのみ行っている。フィードバックは出来ていないとのことだった。

垣花委員より、県立宮古病院の状況について報告があった。まだ進んでいないとのことだった。

新屋副部長より、県立中部病院の状況について報告があった。スクリーニングを看護部主導で行い、担当医にフィードバックする。2 日連続で痛みのある入院患者は緩和ケアチームが対応する。外来は看護師から連絡が来るようになってきている。細かい仕組みはこれからとのことだった。

資料 8 に基づき、的場班による青森中央病院での研修について増田委員より周知があった。また、平成 28 年度第 2 回的場班の開催についても周知があった。

## 2. 緩和ケアフォローアップ研修会の開催について

新屋副部長より、県立中部病院で会場を確保したことが報告された。開催費用については琉大病院も負担し、主催・共催をどうするかについては協議することになった。開催日は 3 月 4 日（土）とする。対象は中部地区の医師をメインターゲットとし、内容と講師は次回の部会で詰めることになった。

## 3. 緩和ケア研修会の受講状況について

資料 9 に基づき拠点病院の緩和ケア研修会の受講状況について情報共有が行われた。

## 4. 沖縄県単位型緩和ケア研修会実施要項の改定について

資料 10 に基づき、前回の部会で意見が出された改定個所の確認が行われ、部会案を沖縄県に提出することとなった。

## 5. 次回部会開催日程について

次回部会開催は 11 月とし、日程調整はメールで行う事になった。

## 6. その他

新屋副部長より、県立宮古病院にて緩和ケア研修会を行う事になったとの報告があった。笹良部会長より、3 月 18 日に九州緩和ケア研究会第 2 回学術集会在開催される旨周知があった。